

決 議

私立中学高等学校は、建学の精神の下、特色ある質の高い教育を展開し、我が国の公教育の発展に貢献してきました。

現在、我が国は少子高齢化の急速な進行による人口減少やデジタル化、グローバル化による社会構造の大きな変化に直面しています。

このような変化の激しい状況の中でも、我々私立中学高等学校は、我が国の将来を担う子供たちの資質・能力を育成するための教育基盤の整備のほか、端末をはじめとしたICT環境の整備、今後発生が懸念される大規模地震に備えるための学校施設の耐震化や気温上昇による熱中症対策のための施設の高機能化に努め、より安全・安心な教育環境の実現を図っております。しかしながら、国公立学校がその全額を公費で賄えるのと異なり、私立学校の経費負担は、物価高騰の影響も受け、自助努力の範囲を超えるものとなっています。

また、都道府県によって高等学校等就学支援金の上乗せ額が異なるなど、居住地によって格差が生じていることから、子供たちが居住地にかかわらず自由に学校を選択し、質の高い教育を等しく受けられるよう、国において保護者の教育費負担の軽減を図ることが強く求められています。

つきましては、本日ここに、私立中学高等学校関係者並びに保護者の総意において、私立学校の自主性・独自性の確保と我が国の公教育における公私間や都道府県間の様々な格差是正の実現を期して、下記の事項について決議いたします。

記

- 一、私立中学高等学校の教育の充実発展のため、経常費助成費等補助の大幅な拡充を図ること
- 一、私立中学高等学校の保護者の教育費負担を軽減し、公私間や都道府県間格差を是正するため、国による就学支援金制度等の大幅な拡充を図ること
- 一、私立中学高等学校のICT環境の整備、施設の耐震化・高機能化の実現のための補助の大幅な拡充を図ること

令和6年11月6日

令和6年度私学振興全国大会